

号外！

次は今年の12月、三味線の名手に来て
いただいて、初めて生の寄席囃子で
華やかに、艶やかに、粹にやります。

第15回 佐世保かっちえて落語会

林家正蔵独演会

私たちはお客様方に、いままで佐世保ではなかったような落語会を提供できるように、毎回心掛けています。

で、次回も、いままでなかったような“本格的な落語会”をお客様方に楽しんでいただきたくて、正蔵師匠と一緒に寄席囃子（三味線）の名手に来ていただくことにいたしました。

寄席囃子（よせばやし）とは、囃家が登場する時や演じている間に、落語の効果を高めるための演奏のことです。

そういう本格的なことも、いつかはやりたいと考えてはいましたが、あるとき正蔵師から連絡があり・・・「寄席囃子の腕っこき（名手）を連れていきますから、生の三味線もお披露目できるような粋な会を佐世保でやりましょうよ」・・・と言ってくれたのです。

正蔵師が言っていた寄席囃子の腕っこきとは、「太田その」さんのこと。落語に詳しい方は、その人気（シャレじゃありませんよ）の程はご存知でしょうが・・・三味線を高校時代から本格的に習い、東京芸術大学の邦楽科で清元を専攻し、長唄を杵屋勝彦、端唄を柏葉すみの両師に師事。芸大卒業後は寄席囃子として落語協会に所属し、現在は寄席囃子の会を主催して、囃家さんたちから全幅の信頼を得ている方です。

正蔵師のことは、皆さん誰もがご存じでしょうから、多くは書きませんが・・・若い頃からすでに、落語に興味のない人でも知っている全国的知名度のある師匠であり、落語だけでなく、テレビや芝居や映画出演もあったりして非常に多忙であり、地方の落語会ではそう簡単にスケジュールをもらえないのですが、私たちの会には、次回で5回目の出演になります。

正蔵師は佐世保とこの会が好きなんですって。嬉しいですねえ。林家一門のみならず、落語界の大名跡である”正蔵”（九代目）を襲名して以来、精進に精進を重ね、その温かい人柄から語られる古典落語には、正蔵師ならではの優しい笑いと情が溢れています。そんな正蔵師が、太田そのさんの寄席囃子に乗って、どんな落語を聴かせてくれるのか・・・日頃から息のあったご両人が共鳴し合って、小粋に、洒脱に、じっくりと、たっぷりと、日本文化の粋と江戸情緒の世界へと誘ってくれる次回の「佐世保かっちえて落語会」。

で、もうひとつ、お客様方に楽しみにしていただきたいお知らせがあります。チラシにあるように「林家たま平」という噺家さんも来てくれるのですが、たま平さんは正蔵師の弟子であり、実の息子でもあるのです。正蔵師に至る親子三代の真打でさえ史上初だったのに、さらにそれを更新する落語界初の四代目として、その将来を期待されている若き“二つ目”なのです。二つ目とは落語家の階級で、その次が真打。次回の「かっちえて落語会」には、たとえば言えば“落語家青田買い”の楽しみもありますよ。

もちりん、いつものように我らが落語っ子たちも前座として出演いたしますので、ご期待ください。

「こんなに盛りだくさんで贅沢な会は、佐世保は元より全国でもめったにないでしょう」と、あなたの目をしっかりと見て、きっぱりと言い切れるほどの自信がありますので、ぜひ！ご来場いただきたいですね。会場でお待ちいたしております。笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。

（文責・海老原靖芳）

平成29年12月17日(日) 開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席:2,500円 自由席:2,000円
小中高生:1,000円(指定席・自由席ともに同じ)
〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃんて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間:月~金 9時~18時

-----切り取り線-----

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____

第15回 佐世保かつちえて落語会

林家正蔵 独演会



舞台上に姿を現すだけで場内を明るくできる数少ない噺家のひとり。全国的な人気もさることながら、国立花形演芸大賞古典落語金賞や文化庁芸術祭優秀賞なども受賞し、その温かい人柄から語られる古典落語には、「正蔵ならではの優しい笑いと情があふれている」と非常に高く評価されている。テレビに映画にと多方面で活躍しているのも、すべては落語のため。落語協会の副会長として落語界を支え、昨今の落語ブームを牽引しているひとりである。



林家たま平

高校卒業後、林家正蔵に入門。見習い後、2014年に前座になり、今年の秋に“二つ目”への昇進が決定した前途有望な23歳。正蔵師匠の弟子にして実の息子でもあり、このまま精進を重ね、落語界初の四代目真打ちになることを期待されている若き噺家である。

前座 | 佐世保かつちえて落語っ子

古川万葉 (広田小2年)
近藤勇仁 (長崎戸町小5年)
朝長心 (北中1年)
井上由一郎 (北高2年)

佐々木雪乃 (大野小4年)
江口慧 (愛宕中1年)
松尾壮馬 (紙園中1年)



日時 **2017年12月17日(日)** 開場 / 午後3時30分
開演 / 午後4時

会場 **佐世保コミュニティーセンター5F**

料金 <大人> 指定席 / 2,500円 自由席 / 2,000円
<小中高生> 全席 / 1,000円



<チケット販売 / 問い合わせ先>

佐世保かつちえて落語会 実行委員会事務局 | **TEL0956-32-0888**
佐世保市千代町2-5 観光交流センター 2階 Soup-Up させぽ内 | (月~金 午前9時~午後6時)